



独立行政法人

大学評価・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and University Evaluation

機構ニュース

Vol.143 2015 April

今月の記事

Top News

○新しい大学評価: 大学機関別選択評価C「教育の国際化の状況」と国際連合大学に対する第三者評価1

評価事業

大学機関別認証評価・選択評価について

○平成26年度実施大学機関別認証評価の評価結果について ほか2

第三者評価について

○第三者評価の評価結果について ほか ...3

高等専門学校機関別認証評価について

○平成26年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価結果について ほか4

法科大学院認証評価について

○平成26年度実施法科大学院認証評価の評価結果について ほか5

学位授与事業

機構認定の教育施設(各省庁大学校)の課程修了者への学位授与関係

○1,016人に学士の学位を授与 ー学部相当の課程修了者ー7

○35人に修士の学位を授与 ー大学院修士課程相当の課程修了者ー8

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○エジプト高等教育省訪問団が来訪9

○新規刊行物のご案内 ーフォーラム・シンポジウム報告書10

国内外の質保証機関等との連携

○英国QAAと情報交換のためのビデオ会議を実施11

機構の窓

○会議の開催状況12

主要行事日程

○Schedule (4月~6月)14

TOP NEWS

○新しい大学評価: 大学機関別選択評価C「教育の国際化の状況」と国際連合大学に対する第三者評価

当機構では認証評価機関として大学、高等専門学校 of 機関別認証評価、法科大学院の分野別認証評価を実施していますが、それに加えて、独自の観点から大学・高等専門学校に対する評価事業に取り組んでいます。(各評価結果の公表については、P.2～6)平成26年度には、大学機関別選択評価の新たな選択評価事項C「教育の国際化の状況」に関する評価を実施するとともに、平成22年度から学位授与のプログラムを開始した国際連合大学に対して第三者評価を実施して、機関別認証評価と同時にその結果を公表しました。

大学機関別選択評価は、特定の選択評価事項について大学を評価することによって、大学の個性を伸ばさせ特色を明確化することや、その改善に資すること、また、当該の選択項目に関する活動の状況を第三者評価を通して社会に分かりやすく示すことを目的とする事業です。これまで、選択評価事項としては、A「研究活動の状況」、B「地域貢献活動の状況」がありましたが、平成26年度には、初めてC「教育の国際化の状況」について3大学について評価を実施しました。この選択評価事項は、昨今における高等教育のグローバル化の動向のなかで、教育の国際化に取り組む日本の大学について、国際的な教育活動の質の一層の向上を図るとともに、教育の国際化の側面において個性・特色を発揮している大学を支援することを目的に行います。

具体的には、国際的な教育プログラム及び教育環境の構築(外国語による授業・学位論文作成、短期留学・超短期留学プログラムやダブル・ディグリー/ジョイント・ディグリー・プログラムの実施、国際通用性の高い教育課程の編成・実施、国際交流センター・海外拠点等の設置、外国人教員・海外での教育研究活動実績等を有する日本人教員の配置、外国語ができる職員の配置等)、それに基づく外国人学生の受入(正規留学生・短期留学生・超短期留学生/実績、学修・生活・就職支援、促進のための取組)、国内学生の海外派遣(短期海外派遣学生・超短期海外派遣学生/実績、学修・生活支援、促進のための取組)等の活動の状況を分析して評価しています。

また、国際連合大学は、昭和48年、国連総会での「国際連合大学憲章」の採択により設立された日本に本部を置く国連の機関です。平成21年には、国際連合大学憲章が改正され、国際連合大学が修士・博士の学位を授与することが認められ、大学院学生を受け入れるプログラムを平成22年9月から開始しています。同大学はその教育の質保証のため、その評価を受けることを当機構に対して申し出てくれたので、大学機関別認証評価のための大学評価基準を準用し、実施されている教育の質についてこれまでの経験をもとにして独自の第三者評価としてこの評価を実施しました。



報道発表の様子

評価事業

大学機関別認証評価・選択評価について

○平成 26 年度実施大学機関別認証評価の評価結果について

当機構では、平成 26 年度に実施した大学機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施したすべての大学が、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、当機構の定める大学評価基準を満たしているとの評価結果となりました。

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「平成 26 年度大学機関別認証評価実施結果報告」として当機構のウェブサイト

http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/daigaku/hyouka/h_26/index.html

に掲載するなど、広く社会に公表しています。

<対象大学>

【国立大学】

- | | | |
|----------|------------|----------|
| • 旭川医科大学 | • 東北大学 | • 福島大学 |
| • 千葉大学 | • 東京工業大学 | • 東京海洋大学 |
| • 一橋大学 | • 横浜国立大学 | • 新潟大学 |
| • 上越教育大学 | • 金沢大学 | • 山梨大学 |
| • 浜松医科大学 | • 名古屋大学 | • 愛知教育大学 |
| • 三重大学 | • 京都工芸繊維大学 | • 兵庫教育大学 |
| • 神戸大学 | • 鳥取大学 | • 岡山大学 |
| • 愛媛大学 | • 高知大学 | • 九州大学 |
| • 長崎大学 | • 宮崎大学 | • 鹿児島大学 |
| • 鹿屋体育大学 | | |

【私立大学】

- 大妻女子大学

○平成 26 年度実施大学機関別選択評価の評価結果について

当機構では、平成 26 年度に実施した大学機関別選択評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象大学へ通知しました。

今回、選択評価を実施した大学の評価結果は、次のとおりとなりました。

<評価結果>

○選択評価事項A「研究活動の状況」（1 大学）

【国立大学】

- 神戸大学 目的の達成状況が良好である

○選択評価事項B「地域貢献活動の状況」（4 大学）

【国立大学】

- | | |
|------------|---------------|
| • 福島大学 | 目的の達成状況が良好である |
| • 愛知教育大学 | 目的の達成状況が良好である |
| • 三重大学 | 目的の達成状況が良好である |
| • 京都工芸繊維大学 | 目的の達成状況が良好である |

○選択評価事項C「教育の国際化の状況」（3大学）

【国立大学】

- ・三重大学 目的の達成状況がおおむね良好である
- ・京都工芸繊維大学 目的の達成状況がおおむね良好である
- ・九州工業大学 目的の達成状況が良好である

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が極めて良好である。	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が極めて良好であると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「平成 26 年度大学機関別選択評価実施結果報告」として当機構のウェブサイト

http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/sentakuhyouka/h_26/index.html

に掲載するなど、広く社会に公表しています。

第三者評価について

○第三者評価の評価結果について

当機構では、平成 26 年度に国際連合大学サステナビリティ学研究科を対象に第三者評価を実施し、評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象大学へ通知しました。

なお、評価結果については、全体を通じての概要等を加え「平成 26 年度に実施した第三者評価の評価結果」として当機構のウェブサイト

http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/3rd_eva/1264001_2882.html

に掲載するなど、広く社会に公表しています。

○国際連合大学に認定証を交付

3月30日（月）竹橋オフィスにて、機構長から竹本和彦国際連合大学サステナビリティ高等研究所所長に対して、同大学サステナビリティ学研究科が、機構の定める大学評価基準を満たしているとして認定証の交付を行いました。



竹本所長（左）と 野上機構長（右）

高等専門学校機関別認証評価について

○平成 26 年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価結果について

当機構では、平成 26 年度に実施した高等専門学校機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象高等専門学校へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施したすべての高等専門学校が、当機構の定める高等専門学校機関別認証評価基準を満たしているとの評価結果となりました。

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「平成 26 年度高等専門学校機関別認証評価実施結果報告」として当機構のウェブサイト

http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/kousen/hyouka/h_26/index.html

に掲載するなど、広く社会に公表しています。

<対象高等専門学校>

【国立高等専門学校】

- ・函館工業高等専門学校
- ・福島工業高等専門学校
- ・長岡工業高等専門学校
- ・米子工業高等専門学校
- ・新居浜工業高等専門学校
- ・苫小牧工業高等専門学校
- ・小山工業高等専門学校
- ・石川工業高等専門学校
- ・津山工業高等専門学校
- ・大分工業高等専門学校
- ・秋田工業高等専門学校
- ・群馬工業高等専門学校
- ・豊田工業高等専門学校
- ・大島商船高等専門学校

【私立高等専門学校】

- ・近畿大学工業高等専門学校

○平成 26 年度実施選択的評価事項に係る評価の評価結果について

当機構では、平成 26 年度に実施した選択的評価事項に係る評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象高等専門学校及びその設置者へ提供しました。

選択的評価事項に係る評価は、認証評価を実施した高等専門学校のうち、希望のあった高等専門学校について実施し、当該事項に関わる対象高等専門学校の有する目的の達成状況について評価しました。

<評価結果>

○選択的評価事項A「研究活動の状況」(15 高等専門学校)

【国立高等専門学校】

- | | |
|--------------|-------------------|
| ・函館工業高等専門学校 | 目的の達成状況がおおむね良好である |
| ・苫小牧工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・秋田工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・福島工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・小山工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・群馬工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・長岡工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・石川工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・豊田工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・米子工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・津山工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・大島商船高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・新居浜工業高等専門学校 | 目的の達成状況が非常に優れている |
| ・大分工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |

【私立高等専門学校】

- ・近畿大学工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である

○選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」（15 高等専門学校）

【国立高等専門学校】

- ・函館工業高等専門学校 目的の達成状況が非常に優れている
- ・苫小牧工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・秋田工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・福島工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・小山工業高等専門学校 目的の達成状況が非常に優れている
- ・群馬工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・長岡工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・石川工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・豊田工業高等専門学校 目的の達成状況が非常に優れている
- ・米子工業高等専門学校 目的の達成状況が非常に優れている
- ・津山工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・大島商船高等専門学校 目的の達成状況が非常に優れている
- ・新居浜工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・大分工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である

【私立高等専門学校】

- ・近畿大学工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が非常に優れている	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が非常に優れていると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「平成 26 年度選択的評価事項に係る評価実施結果報告」として当機構のウェブサイト

http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/kousen/hyouka/h_26/index.html

に掲載するなど、広く社会に公表しています。

法科大学院認証評価について

○平成 26 年度実施法科大学院認証評価の評価結果について

当機構では、平成 26 年度に実施した法科大学院認証評価（本評価）の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該法科大学院を置く大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

なお、対象法科大学院ごとの評価結果（本評価）については、全体を通じての概要等を加え「平成 26 年度法科大学院認証評価実施結果報告」として当機構のウェブサイト

http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/houka/hyouka/h_26/index.html

に掲載するなど、広く社会に公表しています。

今回、認証評価（本評価）を実施した 3 法科大学院のうち、1 法科大学院が評価基準に適合しており、

2法科大学院が適合していないとの評価結果となりました。

<対象法科大学院>

【国立大学】

- 筑波大学大学院ビジネス科学研究科法曹専攻
- 信州大学大学院法曹法務研究科法曹法務専攻 ※
- 静岡大学大学院法務研究科法務専攻 ※

(※は、評価基準に適合していないとする評価結果になった法科大学院)

学位授与事業

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○1,016 人に学士の学位を授与 —学部相当の課程修了者—

大学の学部に対応する教育を行う課程として認定した課程の平成 27 年 3 月修了者から学士の学位授与の申請があり、学位審査会における審査の結果、1,016 人の申請者全員に学士の学位を授与しました。

＜学士の学位授与申請者数及び取得者数＞

認定課程名	専攻分野	申請者数及び取得者数（人）
防衛大学校本科	理 学	49
	工 学	339
	社 会 科 学	72
	人 文 科 学	32
	計	492
防衛医科大学校医学教育部医学科	医 学	79
独立行政法人水産大学校本科	水 産 学	186
海上保安大学校本科	海 上 保 安	32
気象大学校大学部	理 学	16
職業能力開発総合大学校長期課程	工 学	120
国立看護大学校看護学部看護学科	看 護 学	91
合 計		1,016

〇35 人に修士の学位を授与 —大学院修士課程相当の課程修了者—

平成 27 年3月に防衛大学校理工学研究科前期課程、同校総合安全保障研究科前期課程、独立行政法人水産大学校水産学研究科、国立看護大学校研究課程部看護学研究科を修了する見込みの修士の学位授与申請者に対して、社会科学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学の各専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、3月13日（金）開催の学位審査会において最終審査が行われ、35人に対して学位を授与することを決定しました。

<修士の学位取得者数>

認定課程名	専攻分野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科前期課程	理 学	3
	工 学	9
	計	12
防衛大学校総合安全保障研究科前期課程	安 全 保 障 学	15
独立行政法人水産大学校水産学研究科	水 産 学	1
国立看護大学校研究課程部看護学研究科	看 護 学	7
合 計		35

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○エジプト高等教育省訪問団が来訪

2015年3月12日（木）に、エジプト高等教育省から、Moussa Mohamed Fouad El Fateh 顧問と Elsayed Abdalah Atta Mohamed Halema 次官が、また、竹内新也エジプト高等教育省政策アドバイザーが当機構小平本部を訪問しました。

当日は、当機構の研究開発部の土屋評価研究主幹より日本の高等教育の評価システムの仕組みや当機構における高等専門学校の機関別認証評価について、また、吉川学位審査研究主幹より当機構の学位授与、特に短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与制度について説明が行われ、質疑応答がなされました。

最後に Moussa Mohamed Fouad El Fateh 顧問から、今回の当機構からの説明は、現在のエジプトが直面している職業教育の課題の解決に向けて非常に有意義な内容であり、今後精査の上、活用していきたい旨のお話がなされました。



参加者による集合写真

○新規刊行物のご案内　－　フォーラム・シンポジウム報告書

平成 26 年度大学質保証フォーラム　報告書



平成 26 年 8 月に開催した、平成 26 年度大学質保証フォーラム「大学の多元的道しるべ～ランキング指標を問う～」の報告書を刊行しました。基調講演の講演録および講演資料、パネルディスカッションでの発表資料およびディスカッションの概要を収録しています。（平成 27 年 3 月刊行／日本語・86 ページ）

フォーラム報告書電子版掲載先：

http://www.niad.ac.jp/n_kenkyukai/1243451_1207.html

国内外の質保証機関等との連携

○英国 QAA と情報交換のためのビデオ会議を実施

2015年3月11日（水）に、当機構の覚書締結機関である英国高等教育質保証機構（QAA）と、情報交換のためのビデオ会議を実施しました。当機構にとっては、海外の関係機関とビデオ会議システムを介した会議は初めての試みであり、覚書締結機関間の定期的な情報交換を促進する目的で、QAAからの提案により実現したものです。当日は、当機構の小平本部会議室とQAAの2つのオフィス（英国グロスター、ロンドン）を繋いで、2時間にわたって情報交換を行いました。

今回は、両機関の共通の関心事項の中から、国境を越えて提供される教育（Transnational education：TNE）に対する当機構・QAAそれぞれの質保証アプローチの事例と現状をテーマに決めました。QAAからは、英国の大学が海外で提供する教育に対するレビューのシステムや、現在、英国において議論が進められている、TNEに対する質保証の強化策の現状について情報提供がありました。



ビデオ会議の様子

<QAAからの情報提供のポイント>

- ・ 現在、英国の高等教育機関のうち75%が、英国外で高等教育を提供。そこで学ぶ学生は、200か国にまたがり、約64万人を数える。英国内の高等教育機関で学ぶ外国人学生数（約44万人）よりも多い。
- ・ 英国外で提供される教育の形態は、教育を受け入れる国によって主流の形態が共同教育、ブランチキャンパス、遠隔教育など、多様である。
- ・ QAAは、通常の機関別の定期レビューとは別に、英国外で提供される教育に対するテイラーメイド型の評価を、対象国を定めて、毎年実施。判定を下す評価ではなく、改善向上のための提言をまとめる、向上志向型の評価である。

当機構からは、日本における国際的な共同教育の質保証の動向に触れたのち、当機構の取組みとして、「キャンパス・アジア」モニタリングや、日本とASEAN諸国との国際的な共同教育プログラムの質保証手法を模索するプロジェクトについて紹介しました。QAAからは、アジア地域で取り組まれている国際的な共同教育の質保証の動きは大変興味深く、当機構のプロジェクトの成果を今後共有したいとのコメントが寄せられました。

最後に、両機関のビデオ会議を今後も継続し、お互いの取組みの最新動向を交換していくことを確認し、会議を終了しました。

機構の窓

○会議の開催状況

- 大学機関別認証評価委員会

第3回 平成27年3月4日（水）～平成27年3月9日（月）

※書面審議により開催

議事

- (1) 評価結果について
- (2) 専門委員の選考について（平成27年度実施分）
- (3) 大学機関別認証評価自己評価実施要項（平成28年度実施分）等について

- 高等専門学校機関別認証評価委員会

第3回 平成27年3月3日（火）～平成27年3月10日（火）

※書面審議により開催

議事

- (1) 評価結果について
- (2) 専門委員の選考について
- (3) 自己評価実施要項（平成28年度実施分）等について
- (4) 高等専門学校機関別認証評価検討ワーキンググループについて

- 学位審査会

第5回 平成27年3月13日（金） 15時00分～17時00分

議事

- (1) 認定課程修了者に係る学士の学位授与について
 - ①平成27年2月修了者
 - ②平成27年3月修了者
- (2) 認定課程修了見込者に係る修士の学位授与の審査について
- (3) 平成26年度認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について
- (4) その他

• 法科大学院認証評価委員会

第4回 平成27年3月18日(水)

議事

- (1) 評価結果について
- (2) 教育課程又は教員組織に係る重要な変更及び対応状況報告書の調査結果に対する評価結果への付記事項について
- (3) 専門委員の選考について
- (4) 運営連絡会議の編成について
- (5) その他

• 国立大学教育研究評価委員会

第40回 平成27年3月30日(月) 13時30分～15時30分

議事

- (1) 国立大学教育研究評価委員会専門委員候補者の選出について
- (2) 第2期中期目標期間の教育研究の状況についての評価に関するQ&Aについて
- (3) 学系別の参考例について
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) その他

主要行事日程

○ Schedule

4月

日	行事名	担当課	関連ページ
1日～7日	平成27年度4月期 学位授与郵送申請受付期間	学位審査課	関連ページ
21日	平成27年度認証評価機関連絡協議会評価担当 職員研修	評価企画課	

5月

日	行事名	担当課	関連ページ
15日	学位審査会（平成27年度第1回）	学位審査課	関連ページ

6月

日	行事名	担当課	関連ページ
7日	大学評価・学位授与機構試験 （東京・大阪）	学位審査課	関連ページ

